

令和6年度 中津川小学校グランドデザイン

霧島市立中津川小学校

日本国憲法 教育基本法 学習指導要領 国の教育振興基本計画 鹿児島県教育振興基本計画 霧島市教育振興基本計画

E S D (持続可能な開発のための教育) の着実な実施、SDG s 達成のための教育の推進

霧島市基本目標 夢を描き 高い志をもって学び続け、共に輝く未来を創る 心豊かな人づくり

- 【課題】**
- あいさつ、返事
 - 整理整頓
 - 自ら考え行動する
 - 学力の底上げ
 - 児童の確保

学校教育目標
生きる力を身に付け 未来を切り拓く
中津川の子供を育てる

- 【保護者の願い】**
- 人に感謝できる
 - 思いやりがある
 - 友達を大切にできる
 - あいさつや返事ができる
 - 個性がある
 - 人に迷惑をかけない

キャッチフレーズ
挨拶があふれ 夢にあふれ 笑顔あふれる学校

- めざす学校像**
- 教科等指導、生徒指導、学級経営など、全教育活動を通じて、人権尊重の精神に立った学校
 - 安心・安全な学校
 - 保護者や地域の声に応える学校
 - 開かれた学校
 - ・ 社会に開かれた教育課程
 - ・ 家庭・地域の素材・人材を生かす学校
 - ・ 学校評価の活用
 - 特色ある学校
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(個別最適な学び、協働的な学び)
 - ・ 過小規模、複式学級の強みを生かした教育活動

- めざす教師像**
- 人権尊重の理念を正しく理解し、自らの人権意識の高揚を図る教師
 - あたたかく、使命感にあふれ、信頼・尊敬される教師(人間性、職責感と覚悟)
 - いつまでも学び続ける教師(授業力の創造)
 - 児童を認め・褒め・励まし、伸ばすことができる教師
 - 教育公務員としてのサービスを自覚し、サービスに厳正な教師(教育公務員としての自覚)
 - かがしま県教職員等育成指標に基づく資質を兼ね備えた教師

めざす子供像
(自己の生き方を考えることができる)

なかよく 心豊かで思いやりのある子供	かしこく 自ら課題を見つけ、学び、考えることができる子供	たくましく 気力、体力に富み粘り強い子供
1 自分の意見や考えをわかりやすく相手に伝えることができる。 2 相手のことを考えた行動ができる。 3 相手の意見や考えを聞くことができる。 4 ルールや約束を守ることができる。 5 自分や相手を考え整理整頓ができる。	1 課題を明らかにし、目標や見通しを立てて考えることができる。 2 主体的、協働的に学ぶことができる。 3 解決に必要な情報を収集・分析・整理し、確実に行動できる。 4 基礎的・基本的な内容を身につける。	1 苦手なことにも粘り強く努力できる。 2 健康や安全について考え行動できる。 3 進んで運動に取り組むことができる。 4 相手を意識して元気よくあいさつができる。

<ul style="list-style-type: none"> ○ 魅力ある学校づくりの推進:「絆づくり」・「居場所づくり」を意識した教育活動 ○ 全教育活動で「あいさつ運動」・「ほめる運動」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎基本の学力の定着→教科書の練習問題・ドリルの繰り返しと解説 ○ 学ぶ意欲と思考力・判断力・表現力の育成→今週の一問、過去問・WEB 問題の繰り返しと解説、全職員で問題を解く時間の設定、要約・要旨の練習(子供新聞等) ○ 複式指導の充実(ガイド・フォロワーの育成)→ガイド学習の手引きの活用と学期毎の振り返り ○ 学習指導法の改善・充実→複式指導で ICT を使った効果的な授業の試行・改善 ○ 授業での ICT の活用→navima, ロイロ等 ○低中高での情報活用能力の育成 ○ 望ましい学習習慣の育成→家庭連動型の宅習の実施 ○教科等横断的な学習
子供に「夢・志」をもたせる教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリア教育の充実→基礎的・汎用的能力の育成・キャリアパスポートの有効活用 ○ 生徒指導の充実→生徒指導提要の活用 ○ 心の教育の充実→考え議論する道徳教育の充実(生命の尊重、資料を活用した郷土教育の充実)→学校いじめ防止基本方針に基づく指導の徹底(月1回以上のアンケート実施) ○ 安全教育・健康教育の充実→校区通学路・校内の点検(毎月)、危険箇所マップの見直し KYT の育成(写真等の活用)学校の感染症対策の実施と感染症以前の生活スタイルへの改善・変更 ○ 教科体育指導の充実→体力運動能力調査結果を生かした授業、チャレンジかがしまへの取組(月1報告) ○ 魅力ある学校づくりの推進(年3回アンケートの実施)→見直し・改善
特色ある開かれた学校づくりと教育環境整備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特色を生かした郷土教育、地域との交流、集合学習、ボランティア活動→体験だけで終わらない授業(発表、まとめる、作文、絵、ICT の活用 など) ○ 特別支援教育の充実(個別の支援・指導計画の作成、ユニバーサルデザインの共通理解、特別支援教育推進委員会の実施) ○ 家庭・地域との連携(PTA 活動の工夫・改善、地域行事への協力・参加、基本的な生活習慣) ○ 学校評価・説明責任(学校評議員会・信頼される学校づくり委員会、HP の充実)→PDCA サイクルでの見直し・改善 ○ 特認校制度、山村留学の推進及び P R 活動→ポスター作成、配布 HP の作成 ○ 教育環境・校舎内の整備(花いっぱいコンクール、花の管理)
教職員の資質能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修の充実(「学びの羅針盤」や「授業運動型家庭学習の手引き」、「学習者主体の授業」[通知文]の活用)→複式学級における複式指導及び ICT の活用(毎学期ごとの見直し、情報交換)→地区研究指定校としての研究(R6)、研究授業を伴う全員参加の研究授業の実施 ○ 業務改善と校務分掌の機能化(業務改善アクションプランの確認、業務改善が実感できた職員80%以上)→放課後の見直し、フォルダ作成、複式時間割の活用 ○ かがしま県教育等育成指標及び県教員等研修計画の活用 ○ サービス規律の厳正確保(法令遵守)→県通知文、県のサービス指導資料の活用(毎月) ○ 安全衛生委員会の充実